子育て支援センター季刊誌No89（2026年10月）

にじのメッセージ

企画・編集～鶴田町子育て支援センター（つるた乳幼児園）℡0173-22-3765

体験から学ぶ　生きる力

～　遊びは学び　～

園長　福澤紀子

子どもの「生きる力」は、日々の体験から育ちます

子どもが体験から学ぶ営みは、“おぎゃぁ～”と生まれた瞬間から始まっています。泣く、手足をばたつかせる、じっと見つめる、微笑み返す―　そのすべてが、子ども自らの表現であり、周囲の大人に「わたしはこう感じているよ」と知らせる行為です。

私たち大人は、その小さなサインを受け取りながら「どうしたのかな」「何を伝えたいのかな」と問い関わり、寄り添っていきます。この積み重ねこそが、子どもの心の育ちの土台となります。

遊びは学び、そして未来を生きる力へ

子どもたちは興味や関心に基づいて遊びを見つけ、身近な環境の中で直接的・具体的な体験を重ねていきます。大人が「必要だから」と先回りして整えた環境の中での“やらせ体験”は、本物の学びにはなりません。

しかし同じ環境でも“子ども自身が挑戦しようとする行為”であれば、それは確かな体験となります。大切なのは『子ども自ら』の体験であること。

遊びは学びであり、学びは体験を通して「生きる力」へとつながります。怪我を避けることだけを優先した日々では、生きる力は育ちません。子ども自ら挑戦し、時に失敗し、また立ち上がる―　その経験が未来を支えます。

秋の徒歩遠足が教えてくれたこと

10月1日、園では恒例の徒歩遠足を行いました。年齢によって歩く距離は異なりますが、合言葉は『めぜせ！富士見湖パーク』『めざせ！鶴の舞橋』

◎5歳児かなりやは8キロの挑戦

道中では、出会う人への挨拶、自分の家の方角の説明、よく行くお店の紹介など、子どもたちの言葉が自然にあふれます。鶴寿橋では、風に吹かれて「こわい」という子。橋の長さを尋ねると、陽士さんが「300メートル」と教えてくれました。

◎秋庭さん宅の梨の木との出会い

毎年訪ねている秋庭さんのお宅では、一本の梨の木から三種類の梨が採れていましたが数年前からと昨年の大雪と大雨で枝が折れ、二種類しか収穫できなくなったこと。それでも「子

どもたちが来てくれるのを楽しみにしている」と話してくださり、折れた枝もそっと庭に置かれていました。約20年前から年に一度、梨の木を観察するこの出会いを、これからも大切にしていきたいと思います。

◎岩木山、大ため池、そして丹頂鶴

あぜ道を進み、水門へ。土手に上がると、雄大な岩木山と大ため池が目の目に広がります。シラサギが応援するように飛び、丹頂鶴を見つけた子どもたちは歓声をあげました。

◎春に植えたベコニアとの再会

鶴の舞橋に到着し、行き交う人々に「こんにちは」と声を掛け合いながら進みます。春に植えたベコニアの花壇では、自分の植えた花を見つけて嬉しそうに確認し合う姿がありました。

最後は彼岸花を見るために奥まで行き、記念写真を撮影。雨が強くなる中、走ってバスへ乗り込みました。

◎帰園後の手作り弁当

帰ってから食べた手作り弁当の美味しかったこと。今日の体験は、子どもたちにとって一生の思い出になることでしょう。

ゆっくりペース、早歩き、駆け足―　8キロの道のりを歩ききったかなりやさん。子どもたちの「やりきった」という表情が、体験の尊さを物語っていました。



子育て家庭のみなさまへ

子どもたちは、日々の体験の中で自分の世界を広げ、心を育て、未来を生きる力を身につけていきます。その力は、家庭での何気ない日常の中でも確かに育っています。

・自分でやってみようとする気持ち
・うまくいかなくて涙する経験
・できたときの喜び
・誰かに助けてもらう安心
・誰かを思いやる優しさ

どれもが、子どもたちの「生きる力」です。



これからも、園と家庭が手を取り合いながら、子どもたちを真ん中に置いた子育てを進めていければと思います。

子どもからパワーをもらおう
おもしろくて　おかしくて
すてきな話

＜　A保育士（男性）が水槽を掃除している姿を見て　５歳児女児＞

「A先生は、魚のパパだ。」



＜自慢のパパ　５歳児男児＞

・「HとK（姉）と二人で、たたかっても、パパは足だけで勝つよ！」
・「パパとママ一緒に筋トレしてるよ。」
　「どうやって？」
「パパがママを持ち上げて」
　「どうやって持ち上げるの？」
「T（弟）をだっこするように」



＜育児講座報告＞

2026年度　第１回育児講座

「ことばの発達と心の成長」

と　き：2026年6月19日（金）午後６時
ところ：つるた乳幼児園　にじのホール
講　師：言語聴覚士　菊池妃呂子　氏

＊53名の参加



「ことば」がどのように発達し、それが「こころ」の育ちへと繋がり、最後は乳幼児期の大切さへと例をあげて、わかりやすくお話をして下さいました。

最後に「今、しあわせなら、明日もしあわせ。ちょっとした抱っこ、ちょっとした笑顔をするだけで、今の幸せを感じます。」とお話を結んでいただきました。

＜4月～9月の様子＞



育児なんでも相談　1名

園の開放　＜妊婦保育体験＞　0名
＜親子保育体験＞　10組
＜その他の保育体験及び遊び場の開放＞40名

子育て談話室の開放　＜本の貸出＞203冊　＜育児サークルへの開放＞

出張保育　・親子リフレッシュタイム　22回　53組の親子（延べ人数）
・出張保育（健診等）　25組の親子（延べ人数）

＜これからの予定＞

妊婦・親子保育体験日

妊婦・乳児（0歳児）親子保育体験（離乳食体験有り）
毎月第3火曜日午前9時30分～11時

幼児（1歳児～5歳児）親子保育体験（給食体験有り）
毎日（休日除く）午前9時30分～11時30分

いずれも予約をして下さい。給食を希望される方は、10日前までに予約をして下さい。

子育て相談日

第4土曜日午前10時～12時　　午後1時～3時まで開設しています。
子どもの成長、発達の遅れ等、子育てで、気がかりでご心配な事は、何でもご相談下さい。内容によっては専門家の先生が対応します。

ふれあい体験（小、中、高生・大人）

小中高生に限らず、乳幼児期の子どもたちとふれあいたい方、ただ子どもたちの遊んでいる姿を見たい方、子どもたちからパワーをもらいたい方にも開放いたします。

日　　時　　毎週土曜日　午前9時から午前中（その他の日時でも相談に応じます。）
場　　所　　つるた乳幼児園
募集人数　　3人（要予約）
内　　容　　子ども達と遊び、生活援助（おむつ交換、授乳、食事の世話等）を体験
・遊べる服装でおいで下さい。

育児講座　2月　開催予定

親子リフレッシュタイム

鶴遊館で親子で一緒に遊んだり、絵本を読んだりリフレッシュできる時間を持ちたいと計画しています。0歳の赤ちゃんから6歳の子まで、どなたでも親子で参加できます。気軽にいらして下さい。

親子リフレッシュタイム予定表

日時	活動内容	日時	活動内容
4月 8・(15)・22	絵本を楽しもう こいのぼりを作ろう	10月 7・14・(21)・28	♪折り紙でアンパンマンを作ろう 室内滑り台で遊ぼう
5月 13・(20)・27	手遊びを楽しもう 室内滑り台で遊ぼう	11月 4・11・(18)・25	☆絵本を楽しもう ふれあい遊びを遊ぼう
6月 3・10・(17)・24	☆お絵描きを楽しもう ボールで遊ぼう	12月 2・9・(16)・23	クリスマスツリーを作ろう ♪ボールテントで楽しもう
7月 1・8・(15)・22・29	シールで遊ぼう 七夕かざりを作ろう	1月 6・13・(20)・27	新聞紙で遊ぼう 体を動かして遊ぼう
8月 5・(19)・26	折り紙金魚ねぶたを作ろう ボールプールで遊ぼう	2月 (3)・10・17・24	鬼のお面を作ろう おひな様を作ろう ★ピッタッチで遊ぼう
9月 2・9・(16)・30	パネルシアターを楽しもう リズム遊びを楽しもう	3月 3・10・(17)・24	お絵描きを楽しもう 室内滑り台で楽しもう

活動時間・・・午前10時～11時30分　**活動場所・・・鶴遊館栄養指導室、○の日はつるた乳幼児園**
連絡先・・・・・鶴田町子育て支援センター　**TEL22-3765**